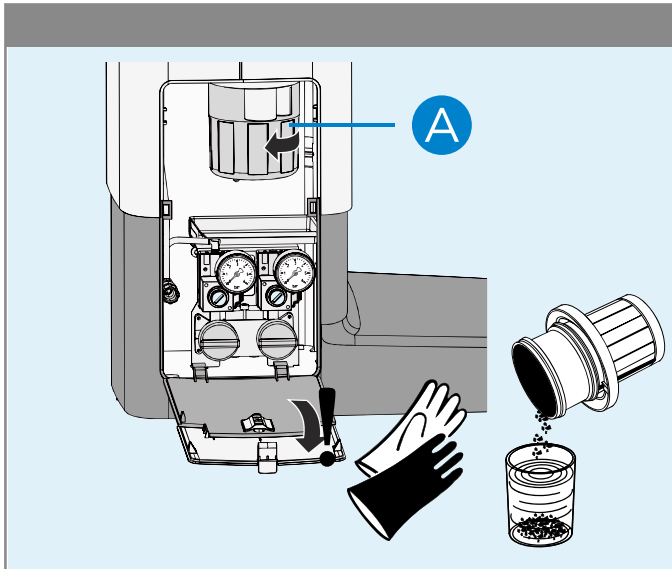


Intego

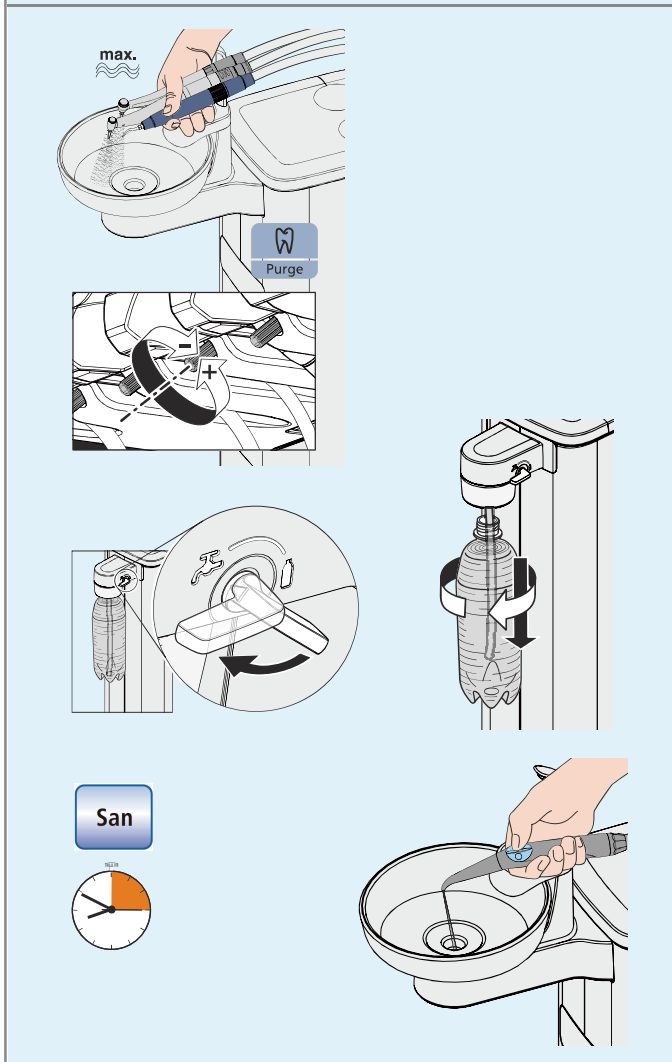
月ごとに行うユニットのお手入れ

イージータッチ用



沈殿タンクの清掃

- 沈殿タンク **A** を清掃します。
ウォーターユニット下部のパネルを開き、沈殿タンクAを回し取り外してください。中の沈殿物を処分し、Oリングに専用グリースを塗布してから沈殿タンクを元に戻します。必ずグローブを着用して実施します。



サニテーション(水回路の洗浄)の実施

ウォーターボトルおよびパージ・サニテーション機能が装備されている場合のみ有効です

- 月1回、トリートメントセンター水回路内のバイオフィルムを低減するために洗浄(サニテーション)を行います。

裏面：サニテーション機能について参照

シュルケ&マイヤー アスピロマチック



●50倍に希釈し
バキュームより吸引し使用
2L
定価¥6,950(税別)

1. インストルメントの注水量を最大にします。
2. コップを給水口の下に置きます。
3. ウォーターボトルに切り替えます。
4. 洗浄剤をウォーターボトルに充填します。
5. サニテーションを開始します。
6. サニテーション終了後、バキュームホースの洗浄を行います。

サニテーション機能について

デントセプトS原液(1.41%過酸化水素水)を水回路内に長時間(24~72時間)滞留させて水回路を強力に洗浄します。



●100倍に希釈し使用

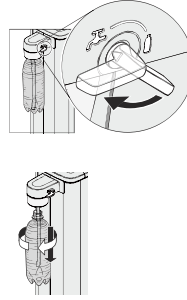
デンプラيشロナ
デントセプトS

1L
定価¥2,700(税別)

<サニテーションの準備>

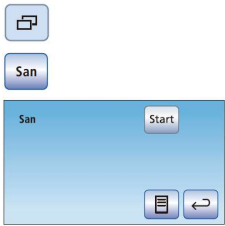


1. インstrumentの水を排水しながら、注水量が最大になるようにinstrumentホルダー下部の水量調節器を左に回し調整します。
2. 全てのinstrumentとバキュームホースをハンガーに戻します。
3. コップ給水口にコップを置きます。

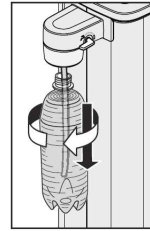


4. ウォーターボットの給水コックをボトル側に切り替えます。
5. ウォーターボットにデントセプトS原液0.4~0.5ℓを入れ、ウォーターユニットに取付けます。

<サニテーションの実施>



1. サブ画面切り替えボタンを押します。
2. 「San」ボタンを押し、次に「Start」ボタンを押します。コップ給水ラインの自動洗浄がスタートします。



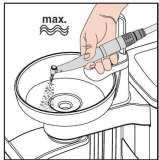
6. チェアの電源をオンにすると、操作パネルに水の補充が表示されます。ウォーターボットに残液が残っている場合は排水し、水とデントセプトSを100:1の割合で入れ、ウォーターユニットに取付けます。



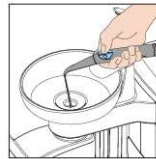
3. コップ給水ラインの自動洗浄が終了したら、シリンジの水ボタンを15秒以上押し排水します。



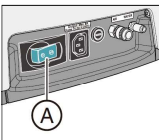
7. 「OK」ボタンを押すとコップ給水ラインのデントセプトSを自動で洗い流します。



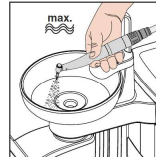
4. 次に、instrumentを1本ずつ取り出し、フットコントローラーを短く踏むと15秒間自動的に排水します。排水が停止したらホルダーに戻し、全てのinstrumentを同じ手順で行います。



8. コップ給水ラインの自動洗浄が終了したら、シリンジの水ボタンを15秒以上押し排水します。



5. チェア前面の電源スイッチ(A)をオフにし24時間以上72時間以内デントセプトSを給水回路に滞留させます。



9. 次に、instrumentを1本ずつ取り出し、フットコントローラーを短く踏むと15秒間自動的に排水します。排水が停止したらホルダーに戻し、全てのinstrumentを同じ手順で行います。

コップ給水のコップは空にし給水口に戻します。



10. 全てのinstrumentの洗浄作業が完了したら、「Stop」ボタンを押し、コップ給水のコップを空にします。

11. サニテーション終了後、バキュームホースの洗浄を行います。診療後に行うメンテナンスのBをご参照ください。

サニテーションを実施するタイミング

Tips

デンタルユニット内の水回路に滞留することで、回路内のバイオフィームが増殖します。

バイオフィームを低減させるには、回路内を強制的に消毒する必要があります。また、上水道の水質が低下した場合も、回路内のバイオフィームが増殖します。

定期的に1か月毎

例)
土曜診療後~月曜診療前

一週間以上使用しない
期間が続いたあと

例)
ゴールデンウィーク後
年末年始後

上水道の給水が停止し
再開するとき

例)
災害による断水後
長期の断水後

水の濁りが見られたとき

例)
濁りが改善され
再開するとき